

# 「銅」誌 ロマン凝縮

社団法人日本銅センター専務理事  
一般社団法人日本伸銅協会専務理事



日高 俊信

「銅」誌は、(社)日本銅センターの前身である日本伸銅協会PR課による初刊発行(昭和三十五年、当時の誌名は「プラス」)から数え、本年で五十周年を迎える。本誌は、戦後、アルミの進出に押されていた伸銅業界がそのPR不足の反省に立って、銅と社会の広い層とを結び、銅を社会の中に溶けこませるための機関誌として創刊されたものであるが、これらのバックナバーを初版からめくってみると、本誌編集に携わってこられた関係者の銅に対する愛着やご苦労が伝わってきて非常に感慨深い。創刊当時、知名度の低い伸銅品の認知度を高めるためには、掲載内容を極力分かりやすく、楽しいものにするべきとの編集方針の下に、詩、写真、随筆、漫画、座談会、需要業界の動向、技術情報等々、バラエティに富んだ工夫が凝らされている。特筆すべきは、毎号、文壇や各界の著名人が本誌のために執筆したり、座談会等にご出席いただいていることである。著名人の二例を挙げれば、井伏鱒二、武者小路実篤、遠藤周作、獅子文六、幸田文、壇三雄、横山隆一、尾崎一雄、草野新平、大宅壮一、岡本太郎、棟方志功等々。読者の関心を引くためとはいえ、このような高名な方々の協力を取りつけた本誌創生期の編集関係者の人脈、情熱、ご苦勞に頭が下がる思いである。

本誌は、国際化を志向して産銅、電線及び伸銅の三業界により昭和三十九年に設立された(社)日本銅センターに継承されることとなり、誌名を「プラス」から「銅」に改称し、銅に関する総合情報誌として、銅関連の広範な分野の特集や海外情報等を紹介する等、更なる内容の充実を図り、今日に至っている。こうしてみると、本誌は、銅を愛し、銅の需要開拓の伝道師として活動された諸先輩方のロマンの凝縮物であり、彼等の熱き思いに心を馳せたとき、「銅」誌編集に携わる者として、その伝統の重さに身が引き締まる思いである。



時代とともに変遷してきた「銅」誌

## 銅

### 目次

2	カパーロマン 「銅」誌 ロマン凝縮 日高 俊信
3	銅の歴史物語 「李目銅」／正阿弥伝兵衛の世界
4	ルポルタージュ 明治村探訪「建築文化を飾る銅」
6	リレー随想 歌舞伎・壺
8	ユーザー訪問 雷からあなたを守る「銅」
10	カパードリーム 銅の靴下 宇宙へ。／宇宙飛行士 山崎直子
11	カパーワールド 世界初！エコマテリアルドアハンドル皿ヶ所
12	銅を学ぶ銅話の世界 街に輝く銅／東京表参道京都四条縄手通り
14	ICA News／銅センターニュース／トピックス